

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	市民生活部観光・ふれあい課	担当課長名	衛門昭彦
(※)第1期実施計画の事業名	文化振興財団補助事業	財務会計上の事業名	文化振興財団補助事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	5041 1	財務会計上の短縮番号	880
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち	
	節	第4節市民文化の創造	
	項目	項目1まちのミュージアム化の推進	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	池田市の文化振興に寄与する事業が展開され、市内外からの集客につなげる。
事業の対象(誰を、何を)	一般財団法人いけだ市民文化振興財団
事業の手段・方法(どのように)	本財団の文化振興事業に対して補助を行う。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	一般財団法人いけだ市民文化振興財団補助金交付要綱

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (予算)	H26/H25
事業費(千円)		27,500	27,500	26,900	26,900	97.8%
主な 内訳	補助金	27,500	27,500	26,900	26,900	97.8%
						-
						-
人件費(人・千円)		0.10 780	0.05 390	0.08 624	0.08 608	160.0%
内 訳	正職員	0.10 780	0.05 390	0.08 624	0.08 608	160.0%
	再任用短時間勤務職員	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	任期付職員(フルタイム)	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	非常勤職員	0 0	0 0	0 0	0 0	-
アルバイト		0 0	0 0	0 0	0 0	-
支 出 合 計 A		28,280	27,890	27,524	27,508	98.7%
財 源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他財源					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C		28,280	27,890	27,524	27,508	98.7%
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	市の出資団体に対する補助金であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指 標 値	実施 計画 目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	文化振興財団実施事業数	件	9	8	8	8	—
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		実施事業に対して安定した集客を得ている							
有 効 性 ・ 効 率 性 評 価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	実施事業に対して安定した集客を得ているが、文化会館の指定管理事業と合わせて実施されていることから、補助金に対する事業費になっているといえるかどうか疑問。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成26年度 <input type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	補助金の減額。(27,500千円→26,900千円)
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	27年度も8事業を開催予定。
現在抱える課題とその対策	課 題: 財団の成り立ちもふまえながら、補助事業と文化会館・カルチャープラザ、ギャラリー指定管理業務について精査する必要がある。 対 策: 次回指定管理選定時に上記について検討。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	次回指定管理選定時に上記について検討。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	市民生活部観光・ふれあい課		担当課長名	衛門昭彦
(※)第1期実施計画の事業名	まちかどギャラリー事業		財務会計上の事業名	まちかどギャラリー事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	5042	1	財務会計上の短縮番号	880
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち		
	節	第4節市民文化の創造		
	項目	項目2文化芸術活動の担い手の育成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	池田市民へ芸術文化に触れる機会を身近に提供
事業の対象(誰を、何を)	本町通りに設置されている絵画展示用スペース9ヶ所
事業の手段・方法(どのように)	業者に委託し、池田市所蔵絵画や写真などを入れ替え展示
実施期間	<input type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input checked="" type="checkbox"/> 時限(平成19年度～平成26年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (予算)	H26/H25
事業費(千円)		402	399	679	0	170.2%
主な内訳	修繕料	0	13	300	0	2307.7%
	まちかどギャラリー運営委託料	250	250	247		98.8%
	土地借上料	144	128	123		96.1%
人件費(人・千円)		0.05 390	0.05 390	0.08 624	0.00 0	160.0%
内訳	正職員	0.05 390	0.05 390	0.08 624	0 0	160.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
	アルバイト	0	0	0	0	-
支出合計 A		792	789	1,303	0	165.1%
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他財源					-
	うち受益者負担 B					-
	一般財源 C	792	789	1,303		165.1%
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	100.0%		100.0%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	いけだサンシー株式会社へ事業を委託。
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	絵画交換頻度	回	4	4	4	—	—
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		適宜入替を実施。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか		<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		掲示版の大きさや設置場所から、掲示できる絵画に限りがあることから。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成26年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	平成26年度末をもって同事業を廃止。掲示板9箇所のうち、6箇所を撤去。一方で市民の目に付きやすい1箇所と、市有地に設置した2箇所、合計3箇所を平成27年度より「観光案内掲示板」として活用。
現在抱える課題とその対策	課 題 対 策
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	市民生活部観光・ふれあい課		担当課長名	衛門昭彦	
(※)第1期実施計画の事業名	文化振興助成事業		財務会計上の事業名	文化振興助成事業	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	5042	1	財務会計上の短縮番号	875	
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち			
	節	第4節市民文化の創造			
	項目	項目2文化芸術活動の担い手の育成			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	池田市民及び池田市の文化振興促進につなげる。また池田市民としての自覚、愛着を育み、より市にご協力いただく。
事業の対象(誰を、何を)	池田市民及び池田市民が構成する団体
事業の手段・方法(どのように)	①申請のあった文化活動事業へ補助金の交付(文化振興補助金)。②文化・スポーツ分野で全国大会に出場・入賞するなど、顕著な成績をおさめた市民へ、市長から奨励金を交付(文化振興奨励金)。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	①池田市文化振興補助金交付要綱 ②池田市文化振興奨励記念品等交付要綱

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (予算)	H26/H25
事業費(千円)		110	645	2,435	1,150	377.5%
主な内訳	文化振興奨励金	110	95	135	350	142.1%
	文化振興補助金		550	2,300	800	418.2%
人件費(人・千円)		0.05 390	0.05 390	0.08 624	0.08 608	160.0%
内訳	正職員	0.05 390	0.05 390	0.08 624	0.08 608	160.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
アルバイト		0	0	0	0	-
支出合計 A		500	1,035	3,059	1,758	295.6%
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他財源					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C		500	1,035	3,059	1,758	295.6%
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容		功績のあった個人・団体へ、規定の金額を交付する趣旨であるため。ただし26年度の2,000千円は文化会館事業への補助金(全額助成金充当)				

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	功績のあった個人・団体へ、規定の金額を交付する趣旨であるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	補助金交付件数	件	0	2	3	2	—
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	奨励金交付件数	件	12	16	13	15	—
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							—
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		補助金交付により、市の文化振興につながる事業を奨励することができ、また奨励金交付により、功績のあった市民を激励することができたため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	申請から交付まで、問題なく対応できていることから。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成26年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	27年度より、交付要綱の見直し。交付実績に基づき、基準のうち近畿大会出場レベルを廃止し、全国規模の大会のみとした。	
現在抱える課題とその対策	課 題	文化活動などの支援・奨励方法のうち、特にスポーツ分野および小中学生への奨励金の交付については関連部署との調整を行う必要がある。
	対 策	連携を取り合い、同一人に重複して交付することのないよう、実施する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	スポーツ・文化振興を奨励するため、継続して実施していく。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 生涯学習推進課		担当課長名	田上雅則
(※)第1期実施計画の事業名	市史編纂事業		財務会計上の事業名	市史編纂事業/委員報酬事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	5043	1	財務会計上の短縮番号	5890
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち		
	節	第4節市民文化の創造		
	項目	項目3ふるさとの文化の保護・醸成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	『新修池田市史』『池田市史』史料編を編纂し、池田の歴史を改めて検証するとともに、市民の郷土に対する理解と愛着を深める。併せて歴史資料を系統的に収集・保存する。
事業の対象(誰を、何を)	池田市域の歴史、および歴史資料全般
事業の手段・方法(どのように)	・資料収集、整理、保管、調査、研究 ・市史編纂委員、専門委員による編纂方針や調査内容等の検討 ・市広報誌、HP、チラシやポスター等によるPR
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成5年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	池田市附属機関条例第2条

2 事業費等

区 分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		3,854		3,317		6,789		8,290		204.7%
主な内訳	報償金	2,582		2,086		1,495		1,402		71.7%
	印刷製本費	54		47		4,141		5,490		8810.6%
	機器借上料	545		470		461		479		98.1%
人件費(人・千円)		4.06	13,573	3.77	15,473	3.37	14,824	3.65	15,995	89.3%
内訳	正職員	0.91	7,098	1.30	10,140	1.26	9,789	1.36	10,298	96.5%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員	1.60	3,840	1.62	3,888	1.81	4,525	1.64	4,592	111.7%
アルバイト		1.55	2,635	0.85	1,445	0.30	510	0.65	1,105	35.3%
支出合計 A		17,427		18,790		21,613		24,285		115.0%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他財源	298		137		235		150		171.5%
	うち受益者負担 B									-
一般財源 C		17,129		18,576		21,352		24,031		114.9%
一般財源比率 C÷A		98.3%		98.9%		98.8%		99.0%		99.9%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	収集資料の整理、市民を交えての市史のPRと普及活動
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	事業の性格上専門性・公的性が要求されるため、あくまでも補完的な位置付けで、全面的な置き換えは難しい。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	市史の刊行	冊			1	1	1
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	広報誌などへの市史編纂成果のPR	回	12	12	12	12	12
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	収集資料の整理・保存・対策	% (完遂度)	30	30	20	30	50
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	市史資料・公文書保存などの検討会	回		3			
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		若干遅延したものの、市史の刊行により、成果物としてまとまりつつある。他方、収集資料の整理・保存対策が追いついていない。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	市史の発刊、広報活動など、成果を積み上げているが、収集資料の整理・保存対策が追いついていない。事業費は、市史の校正・編集・資料整理などは全て専門性が高くマンパワーで行うため、市史の刊行までの改善は困難。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成25年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	市史編纂委員会を附属機関へ移行	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	『池田市史』史料編⑩を発刊	
現在抱える課題とその対策	課 題	大量に収集した歴史資料を整理し、永続的に管理・保存すると同時に市民利用の環境を整える必要がある。
	対 策	まずは一元管理に向けて、学校跡地などの利活用を検討・提言する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	予定刊行が終了しても、市が存在する以上、歴史は継続していくものであり、市史編纂に伴う歴史資料の収集・活用は必要。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 生涯学習推進課		担当課長名	田上雅則
(※)第1期実施計画の事業名	古文書・歴史資料調査事業		財務会計上の事業名	古文書・歴史資料調査事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	5043	2	財務会計上の短縮番号	5892
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち		
	節	第4節市民文化の創造		
	項目	項目3ふるさとの文化の保護・醸成		

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	地域の歴史の解明、および市史編纂のための基礎資料の整備、保存対策を図り、市民共有の財産として後世に伝えていく一助とする
事業の対象(誰を、何を)	市内に所在する古文書・歴史資料
事業の手段・方法(どのように)	所在の確認、調査、整理、目録作成、撮影複写、および保存対策を施す
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	文化財保護法第3条、池田市環境保全条例第75条・第78条

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (予算)	H26/H25				
事業費(千円)		177	176	176	176	100.0%				
主な内訳	報償金	143	144	144	144	100.0%				
	消耗品費	23	23	23	23	100.0%				
	印刷製本費	11	9	9	9	100.0%				
人件費(人・千円)		0.26	2,028	0.15	1,170	0.13	1,014	0.13	854	86.7%
内訳	正職員	0.26	2,028	0.15	1,170	0.13	1,014	0.11	798	86.7%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0	0.02	56		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		2,205	1,346	1,190	1,030	88.4%				
財源	国・府支出金					-				
	地方債					-				
	その他財源					-				
	うち受益者負担 B					-				
一般財源 C		2,205	1,346	1,190	1,030	88.4%				
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				
受益者負担率 B÷A						-				
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し								
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	古文書・歴史資料の整理
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	事業の性格上専門性・公的性が要求されるため、あくまでも補完的な位置付けで、全面的な置き換えは難しい。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
		<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	古文書・歴史資料の調査	件	1	1	1	1	1
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
		<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		着実に古文書・歴史資料の調査・保存に結びついている。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか		<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)		最低限の事業費で一定の成果を積み上げている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	収集資料の整理・保存
現在抱える課題とその対策	課 題: 世代交代などにより、古文書・歴史資料の散逸が進む可能性がある。 対 策: 資料保存の重要性を発信・PRするとともに、所在の再確認を行い、より正確な目録の作成などを検討する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	引き続き文書の収集・保存に努める。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 生涯学習推進課	担当課長名	田上雅則
(※)第1期実施計画の事業名	文化財一般事務事業	財務会計上の事業名	文化財一般事務事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	5043 4	財務会計上の短縮番号	6660
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち	
	節	第4節市民文化の創造	
	項目	項目3ふるさとの文化の保護・醸成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	文化財の保護、調査、研究、活用
事業の対象(誰を、何を)	市民、文化財
事業の手段・方法(どのように)	文化財の保護、調査、研究、活用
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	文化財保護法第3条・第4条、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条・第24条、池田市環境保全条例第75条・第78条・第79条・第87条など

2 事業費等

区分	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	H26/H25	
事業費(千円)	1,432	1,386	2,524	5,024	182.1%	
主な内訳	報償金	50	22	40	55	181.8%
	消耗品費	144	143	160	165	111.9%
	補助金	1,219	1,219	2,318	2,294	190.2%
人件費(人・千円)	0.06 468	0.30 2,096	0.20 1,560	0.21 1,596	66.7%	
内訳	正職員	0.06 468	0.26 2,028	0.20 1,560	0.21 1,596	76.9%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0	0	0	0	-
	非常勤職員	0	0	0	0	-
	アルバイト	0 0.04 68	0	0	0	0.0%
支出合計 A	1,900	3,482	4,084	6,620	117.3%	
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他財源					-
	うち受益者負担 B					-
	一般財源 C	1,900	3,482	4,084	6,620	117.3%
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容	補助金は受益者負担あり、補助率が確定している。					

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	文化財調査で文化財保護審議委員の協力を得て行なっている。
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	美術品、建造物の文化財調査
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	専門性の高い文化財調査機関への委託
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(予定)	目標値(H26)
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	指定文化財の修理補助	件	1	1	2	2	2
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	指定文化財説明板の取替え	本	1	1	1	1	1
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	26年度の修理は予定どおり終了した。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	予算内では目的を達成できているが、予算がなくて出来ない看板取替えなどや文化財の修繕などがある。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	池田茶臼山古墳の保護対策。	
現在抱える課題とその対策	課題	指定文化財の破損は急に起こる場合が多く、予算で対応できない。看板の取替え等が進んでいない。
	対策	決定している修理予算以外にも、予備費的な予算があれば、対応しやすい。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	久安寺楼門、八坂神社本殿など過去に保存修理を行なった文化財について、修理の手を加える時期が来ている。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 生涯学習推進課	担当課長名	田上雅則
(※)第1期実施計画の事業名	文化財公開展開催事業	財務会計上の事業名	文化財公開展開催事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	5043 5	財務会計上の短縮番号	6670
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち	
	節	第4節市民文化の創造	
	項目	項目3ふるさとの文化の保護・醸成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	文化財や郷土文化に対する理解と郷土愛の向上を涵養する
事業の対象(誰を、何を)	市民
事業の手段・方法(どのように)	文化財に触れる機会を設ける。
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	文化財保護法第3条・第4条、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条、池田市環境保全条例第86条

2 事業費等

区 分		24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (予算)	H26/H25
事業費(千円)		40	40	30	40	75.0%
主な内訳	報償金	40	40	30	40	75.0%
						-
						-
人件費(人・千円)		0.06 468	0.05 390	0.07 546	0.09 684	140.0%
内訳	正職員	0.06 468	0.05 390	0.07 546	0.09 684	140.0%
	再任用短時間勤務職員	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	任期付職員(フルタイム)	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	非常勤職員	0 0	0 0	0 0	0 0	-
アルバイト		0 0	0 0	0 0	0 0	-
支 出 合 計 A		508	430	576	724	134.0%
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他財源					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C		508	430	576	724	134.0%
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
受益者負担率 B÷A						-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	文化財公開は、所有者と教育委員会との信頼関係によるところが大きい。また、文化財の取り扱いについても、市の専門職員が立ち会うなど細心の注意が必要。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値	実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
					(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
☆	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果		指定文化財の公開・現地解説	件	4	4	2	4	4
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果		公開展参加者数	人	60	60	35	80	80
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果								
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由		雨天の為、参加者が少なかったが、一定の参加者もあり成果があったと思われる。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)							
	事業は効率的に実施できているか	<input type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input checked="" type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)							
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	公開文化財の選択・コースなど改善の余地はある。							

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 平成 24 年度 <input type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容	午前中でのみの開催にする。	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input checked="" type="checkbox"/> 1 拡充 <input type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	指定文化財以外の文化財の紹介を多く取り入れたい。	
現在抱える課題とその対策	課 題	紹介文化財の洗い出し。
	対 策	指定文化財以外の文化財の紹介をし、良い事業としたい。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	文化財の公開は、文化財の活用の基本であり、継続して実施するべきと考える。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 生涯学習推進課	担当課長名	田上雅則
(※)第1期実施計画の事業名	埋蔵文化財緊急発掘調査事業	財務会計上の事業名	埋蔵文化財緊急発掘調査事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	5043 6	財務会計上の短縮番号	6675
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち	
	節	第4節市民文化の創造	
	項目	項目3ふるさとの文化の保護・醸成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	個人住宅等の建築に伴い、埋蔵文化財発掘調査を行うことで、開発と文化財保護に関する必要な資料を収集するとともに、埋蔵文化財の保護と活用を努める。
事業の対象(誰を、何を)	市民
事業の手段・方法(どのように)	埋蔵文化財の調査
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和60年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	文化財保護法第3条・第93条・第99条、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条

2 事業費等

区分	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	H26/H25	
事業費(千円)	1,271	1,130	1,283	2,898	113.5%	
主な内訳	賃金	291	108	138	641	127.8%
	印刷製本費	234	199	217	280	109.0%
	掘削委託料	168	504	642	1,494	127.4%
人件費(人・千円)	0.09 702	0.16 1,248	0.33 2,208	0.32 2,078	206.3%	
内訳	正職員	0.09 702	0.16 1,248	0.27 2,106	0.26 1,976	168.8%
	再任用短時間勤務職員	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	任期付職員(フルタイム)	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	任期付職員(短時間勤務)	0 0	0 0	0 0	0 0	-
	非常勤職員	0 0	0 0	0 0	0 0	-
アルバイト	0 0	0 0	0.06 102	0.06 102	-	
支出合計 A	1,973	2,378	3,491	4,976	146.8%	
財源	国・府支出金	500	500	600	800	120.0%
	地方債					-
	その他財源					-
	うち受益者負担 B					-
一般財源 C	771	630	683	2,098	108.4%	
一般財源比率 C÷A	39.1%	26.5%	19.6%	42.2%	73.8%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input checked="" type="checkbox"/> その他(掘削委託)
上記の内容	掘削作業については委託で実施。
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	補助的な作業。鉄器等出土遺物の保存処理の外部委託や測量委託など。
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input checked="" type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他
上記の内容	調査時の職員の負担の軽減。
不可能の場合:選択の理由	発掘調査が必要かの判断や工事業者への指示が必要なため、発掘調査事業のアウトソーシングは不可

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(予定)	目標値(H26)
指標値	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	事業に伴う発掘調査件数	件	6	8	6	7	—
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	埋蔵文化財発掘届	件	54	43	34	50	—
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input checked="" type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		建築工事の状況により調査件数が増減するため、目標の推移等は判断できない						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	発掘調査の対応が早期に出来ている為。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	発掘調査の実施、対応は現状では可能である。
現在抱える課題とその対策	課題 専門職員の高齢化。 対策 2名体制維持が必要。行政判断が必要なため正職員が必要。計画的な採用が必要。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	市民生活にも直接関わるもので、継続して、また、緊急対応が出来るよう努めて行かなくてはならないと考える。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 生涯学習推進課	担当課長名	田上雅則
(※)第1期実施計画の事業名	国指定文化財管理費補助事業	財務会計上の事業名	国指定文化財管理費補助事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	5043	7	財務会計上の短縮番号 6680
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち	
	節	第4節市民文化の創造	
	項目	項目3ふるさとの文化の保護・醸成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	国指定文化財を後世に継承するため
事業の対象(誰を、何を)	国指定重要文化財所有者
事業の手段・方法(どのように)	国指定文化財管理に伴う防災設備保守点検・管理修理費の補助
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(昭和61 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度 <input type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	文化財保護法第3条・第31条、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条・第24条

2 事業費等

区 分		24 年度 (決算)	25 年度 (決算)	26 年度 (決算)	27 年度 (予算)	H26/H25				
事業費(千円)		94	94	94	94	100.0%				
主な内訳	補助金	94	94	94	94	100.0%				
						-				
						-				
人件費(人・千円)		0.06	468	0.04	312	0.05	390	0.05	380	125.0%
内訳	正職員	0.06	468	0.04	312	0.05	390	0.05	380	125.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)		0		0		0		0	-
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0		0	-
支出合計 A		562	406	484	474	119.2%				
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他財源									-
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	562	406	484	474	119.2%				
一般財源比率 C÷A		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%				
受益者負担率 B÷A						-				
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し									
上記の内容	受益者負担あり、補助率が確定している。									

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	国重要文化財所有者への補助金のため、修理等があれば、実施の判断が必要であり、大阪府・所有者への協議も必要となるため。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区 分	内 容	単 位	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	防災設備保守・管理修理	件	3	3	3	3	3
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		文化財の継承の一助となったため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	補助金をもとに防災設備保守が行なわれている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施	
見直しの内容		
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
上記の内容	各保有者から補助金の増加の計画がないため。	
現在抱える課題とその対策	課 題	今後、設備の故障による修理が予想される。
	対 策	対象物の把握が必要。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針		
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他	
選択の理由	指定文化財の管理は保存のため重要である。	

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 歴史民俗資料館		担当課長名	谷口 博昭	
(※)第1期実施計画の事業名	歴史民俗資料館管理運営事業		財務会計上の事業名	資料館管理事業/資料館運営事業	
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	5043	8	財務会計上の短縮番号	006830/006835	
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち			
	節	第4節市民文化の創造			
	項目	項目3ふるさとの文化の保護・醸成			

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	利用者の利便性の向上及び資料の保全/池田の歴史・文化に関する体系的なコレクションの整備
事業の対象(誰を、何を)	利用者・施設・収蔵資料/地域資料・市民
事業の手段・方法(どのように)	施設補修及び整備、資料整理/池田の歴史・文化に関する資料の購入・寄贈・寄託
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	文化財保護法第3条・池田市立歴史民俗資料館条例・池田市立歴史民俗資料館条例施行規則

2 事業費等

区分		24年度(決算)		25年度(決算)		26年度(決算)		27年度(予算)		H26/H25
事業費(千円)		2,211		1,330		1,491		1,438		112.1%
主な内訳	修繕料	557		259		255		319		98.5%
	手数料	236		0		243		0		-
	器具費	344		298		234		295		78.5%
人件費(人・千円)		2.30	12,440	2.20	13,160	2.20	13,240	3.15	14,980	100.0%
内訳	正職員	1.20	9,360	1.40	10,920	1.40	10,920	1.40	10,640	100.0%
	再任用短時間勤務職員		0		0		0		0	-
	任期付職員(フルタイム)		0		0		0		0	-
	任期付職員(短時間勤務)	1.10	3,080	0.80	2,240	0.80	2,320	1.05	3,150	100.0%
	非常勤職員		0		0		0		0	-
	アルバイト		0		0		0	0.70	1,190	-
支出合計 A		14,651		14,490		14,731		16,418		101.7%
財源	国・府支出金									-
	地方債									-
	その他財源	59		135		130		60		96.3%
	うち受益者負担 B									-
	一般財源 C	14,592		14,355		14,601		16,648		101.7%
一般財源比率 C÷A		99.6%		99.1%		99.1%		101.4%		100.0%
受益者負担率 B÷A										-
受益者負担の見直し		<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度		<input type="checkbox"/> 2 実施予定		<input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し				
上記の内容										

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
可能な場合:導入可能な業務	
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
不可能の場合:選択の理由	管理事業では対象業務がなく、運営事業では根幹となるコレクションの整備、とくに寄贈資料は恒久的な保存・活用を期待して本館および学芸員に託されることから、アウトソーシングの導入は不可能。

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	24年度	25年度	26年度	27年度	目標値
				(実績)	(実績)	(実績)	(予定)	(H26)
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	資料の購入、寄託、寄贈	件	7	9	17	5	10
	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	資料件数	件	3,868	3,877	3,900	3,910	3,886
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	資料館および所蔵資料に対する燻蒸作業	件	1	0	1	0	1
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況		<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない						
選択の理由		燻蒸作業を隔年実施するとともに、購入・寄贈・寄託により収蔵資料件数が増加しているため。						
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	隔年ではあるが燻蒸作業を実施することにより、資料の適切な保存につとめている。また、予算や収蔵スペースの範囲内ではあるが、資料の購入・寄贈・寄託をすすめることにより、一定程度、池田の歴史・文化に関する資料の散逸防止と体系的なコレクション整備がはかられている。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	日常的な環境管理と整理により収蔵資料の適切な保存をはかるとともに、池田の歴史・文化に関する体系的なコレクションの整備にむけて新たな資料収集を行う。
現在抱える課題とその対策	課題 施設の機能更新(収蔵庫・展示室の空調機器他)、ならびに、資料収蔵場所の分散・不足の解消。 対策 計画的な修繕等により施設の維持管理につとめる。資料の整理を行い効率的な保管につとめるとともに、保管だけでなく展示などの活用も視野に入れたスペース確保が可能か検討する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	館蔵資料の収集については、今後も計画性をもってすすめていく。資料収蔵場所の拡充については、教育委員会・市長部局全体の動きのなかで調整・検討をはかっていく。

事務事業評価シート(26年度実施事務事業)

担当部署名	教育部 歴史民俗資料館	担当課長名	谷口 博昭
(※)第1期実施計画の事業名	常設展、特別展開催事業	財務会計上の事業名	常設展、特別展開催事業
(※)第1期実施計画の分類番号/事業番号	5043 8	財務会計上の短縮番号	6840
総合計画の体系	章	第5章豊かな心を育む教育と文化のまち	
	節	第4節市民文化の創造	
	項目	項目3ふるさとの文化の保護・醸成	

※総合計画第6章に係る事業は「池田市行財政改革推進プラン」による。

1 事務事業の概要

会計区分(会計名を記入)	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別会計() <input type="checkbox"/> 企業会計()
事業の目的(どのような結果を得るか)	文化に対する市民の理解と、郷土への愛情を深める。
事業の対象(誰を、何を)	市民ならびに来館者
事業の手段・方法(どのように)	池田市域およびその関連地域の歴史・文化に関する展示等を実施
実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続(平成 年度～) <input type="checkbox"/> 時限(平成 年度～平成 年度)
実施根拠	<input type="checkbox"/> 国・府の制度 <input checked="" type="checkbox"/> 国・府の制度+市独自の制度 <input type="checkbox"/> 市独自の制度
※根拠法とその条項	文化財保護法第3条・池田市立歴史民俗資料館条例・池田市立歴史民俗資料館条例施行規則

2 事業費等

区分	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(決算)	27年度(予算)	H26/H25	
事業費(千円)	2,570	2,787	2,492	2,965	89.4%	
主な内訳	印刷製本費	815	796	827	837	103.9%
	通信運搬費	487	860	894	904	104.0%
	報償費	749	576	440	725	76.4%
人件費(人・千円)	1.60 7,480	2.80 10,840	2.80 11,060	2.85 10,920	100.0%	
内訳	正職員	0.60 4,680	0.60 4,680	0.60 4,680	0.60 4,560	100.0%
	再任用短時間勤務職員	0	0	0	0	-
	任期付職員(フルタイム)	0	0	0	0	-
	任期付職員(短時間勤務)	1.00 2,800	2.20 6,160	2.20 6,380	1.95 5,850	100.0%
	非常勤職員	0	0	0	0	-
アルバイト	0	0	0	0.30 510	-	
支出合計 A	10,050	13,627	13,552	13,885	99.4%	
財源	国・府支出金					-
	地方債					-
	その他財源	391	409	460	200	112.5%
	うち受益者負担 B					-
	一般財源 C	9,695	13,218	13,092	13,395	99.0%
一般財源比率 C÷A	96.5%	97.0%	96.6%	96.5%	99.6%	
受益者負担率 B÷A					-	
受益者負担の見直し	<input type="checkbox"/> 1 実施済 平成 年度 <input type="checkbox"/> 2 実施予定 <input checked="" type="checkbox"/> 3 予定無し					
上記の内容						

3 アウトソーシング評価

現状のアウトソーシング	<input type="checkbox"/> 1 すべて導入済 <input type="checkbox"/> 2 一部導入済 <input checked="" type="checkbox"/> 3 未導入
1又は2の場合:導入の効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	
2又は3の場合:今後のアウトソーシング	<input checked="" type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 不可能
可能の場合:導入可能な業務	展示解説ボランティア
見込まれる効果	<input type="checkbox"/> コスト削減 <input checked="" type="checkbox"/> サービス向上 <input type="checkbox"/> 事務簡略化 <input type="checkbox"/> その他 ()
上記の内容	現段階では常駐するか、必要時のみかを含めて、解説ボランティア自体のニーズがどの程度あるか把握できていない。また、展示解説に対応できるボランティアを養成する必要があるため、導入には時間を要する。
不可能の場合:選択の理由	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

実施計画目標	区分	内容	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(予定)	目標値(H26)
指標値	<input type="checkbox"/> 活動 <input checked="" type="checkbox"/> 成果	特別展、常設展、企画展入館者数	人	17,114	20,335	21,316	21,000	21,000
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	常設展、企画展開催回数	回	4	4	4	4	4
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	特別展開催回数	回	1	1	1	1	1
	<input checked="" type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果	館外活動	回	0	0	1	1	1
	<input type="checkbox"/> 活動 <input type="checkbox"/> 成果							
成果の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> A 目標を達成した <input type="checkbox"/> B 目標を達成できなかった <input type="checkbox"/> C 判断できない							
選択の理由	特別展1回、常設展・企画展4回の開催を維持し、入館者数も目標に達しているため。							
有効性・効率性評価	目的達成のための有効な内容となっているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 有効的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 有効的でない(抜本的な見直しが必要)						
	事業は効率的に実施できているか	<input checked="" type="checkbox"/> A 効率的である(改善の余地がない) <input type="checkbox"/> B 改善の余地がある <input type="checkbox"/> C 効率的でない(抜本的な見直しが必要)						
	選択の理由(指標値や事業費の推移についても言及して記入)	展示内容を身近なテーマとしたり、館外での館蔵資料紹介の機会を設けるなどの取り組みが、入館者数の増加につながったものと考え、一定の成果が得られていると判断。						

5 課題と対策及び担当部長の評価

平成22年度～平成26年度における事業内容の見直し(直近)	<input type="checkbox"/> 実施 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 未実施
見直しの内容	
平成27年度の取組(平成26年度比)	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
上記の内容	大人向け、子供向けといった対応した解説など展示手法を工夫するとともに、学習内容に合わせた展示構成に取り組み、学校教育との連携を目指す。
現在抱える課題とその対策	課題 様々な世代や興味に配慮した展示内容の充実、効果的な広報。 対策 資料調査・研究に裏付けられた豊かな切り口をもって、さまざまな内容の展示を実施する。HPの充実をはかるとともに、展示内容に応じて案内先を見直すなど広報のあり方を工夫する。
上記の評価を踏まえて、担当部長が考える今後(平成28年度以降)の取組方針	
取組方針	<input type="checkbox"/> 1 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2 現状維持 <input type="checkbox"/> 3 縮小 <input type="checkbox"/> 4 廃止 <input type="checkbox"/> 5 その他
選択の理由	展示の基礎となる資料調査・研究のさらなる充実をはかり、魅力ある展示を企画・開催するとともに、効果的な広報を行うことで、入館者の増加と満足度の向上をめざす。